

經濟論叢

第 157 卷 第 3 号

哀 辞

故 島恭彦名誉教授遺影および略歴

金融的ヒエラルキーと過剰金融……………本 山 美 彦 1

寡占市場における組合化の効果：

産業別 vs 企業別組合……………石 黒 真 吾 20

中小企業の存立・成長と研究開発……………蘇 顯 揚 33

芸術支援政策の財政問題（1）……………金 武 創 51

追 憶 文

島恭彦先生の業績を偲ぶ……………宮 本 憲 一 67

弔辞……………廣 田 司 朗 71

島ゼミナールの思い出……………横 田 茂 73

平成 8 年 3 月

京 都 大 学 經 済 學 會



故島 恭彦名誉教授遺影

故鳥 恭彦先生 御略歴

1910(明治43)年6月	福井県敦賀市に生まれる
1931(昭和9)年3月	京都帝国大学経済学部卒業
1934(昭和9)年4月	京都帝国大学大学院(経済学部)入学
1934(昭和9)年5月	京都帝国大学経済学部副手
1936(昭和11)年3月	京都帝国大学経済学部講師
1940(昭和15)年4月	和歌山高等商業学校教授
1944(昭和19)年5月	京都帝国大学人文科学研究所助教授
1946(昭和21)年7月	京都帝国大学経済学部助教授
1948(昭和23)年1月	第一期日本学術会議会員(1950年, 1953年, 1962年)
1949(昭和24)年2月	京都大学経済学部教授 財政学講座担当
1951(昭和26)年12月	経済学博士
1957(昭和32)年12月	京都府土地収用委員会委員(～1960年, 1964年～1973年)
1961(昭和36)年1月	京都大学経済学部長
1970(昭和45)年1月	京都大学評議員
1974(昭和49)年3月	京都大学定年退官, 京都大学名誉教授
1974(昭和49)年4月	専修大学教授
1981(昭和56)年3月	専修大学退職
1995(平成7)年9月	肺炎のため御逝去